

## 5月例会「春の虫おもしろ探検」報告書

- と き 令和7年5月25日（日）午前10時～正午
- ところ 立田山憩の森お祭り広場(集合・解散)
- 指導員 清田、長濱、益田、倉光、中間、藤井(景)
- 参加者 19家族、41人
- 観察種 34種

(トンボ) リュウキュウベニイトトンボ、フタスジサナエ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、ハラビロトンボ、ヨツボシトンボ (チョウ) ウラギンシジミ、ベニシジミ、ルリシジミ、ツバメシジミ、ヒメウラナミジャノメ、キタキチョウ、モンキチョウ、モンシロチョウ (その他) エンマコオロギ、クルマバッタ、ショウリョウバッタ、ハネナガイナゴ、ナナホシテントウ、ヒメカメノコテントウ、ヨコツナサシガメ、コイチャコガネ、オオヒラタシテムシ、ヨモギハムシ、カミナリハムシ、モリチャバネゴキブリ、エダナナフシ、ガガンボの仲間、アオメアブ、シオアブ、ヒゲジロハサミムシ、ハマバハサミムシ、クロオオアリ (カエル) ニホンアカガエル



よく晴れて暖かい観察会となりました。子ども達は虫網と虫かごを手にトンボやバッタを追いかけ、広場をかけまわり、捕獲すると「こんなのがいいたよ!」「これなんですか?」と指導委員に尋ねます。

最後のまとめでは「南方のリュウキュウベニイトトンボがいきました」「ヨツボシトンボは珍しい」「小さなカエルは上陸したばかりのニホンアカガエル」などと解説してもらいました。